

松浦川水系河川整備計画（案）

～ 第 2 回松浦川学識者懇談会説明資料～

平成20年3月

国土交通省九州地方整備局 武雄河川事務所

意見集約結果

(住民意見交換会・アンケート)

関係住民からの意見聴取

意見交換会による意見聴取

- ・ 130名程度の参加があり、**意見総数76件。**
- ・ 流域内4会場で実施。（松浦川2、徳須恵川1、巖木川1）
- ・ 参加呼びかけのため、ビラ配布、ケーブルテレビ放映など。

アンケートによる意見聴取（11月6日～12月20日迄）

- ・ 回答318通のうち、**意見総数176件。**
- ・ 意見箱設置19箇所

アンケート用紙200枚回収

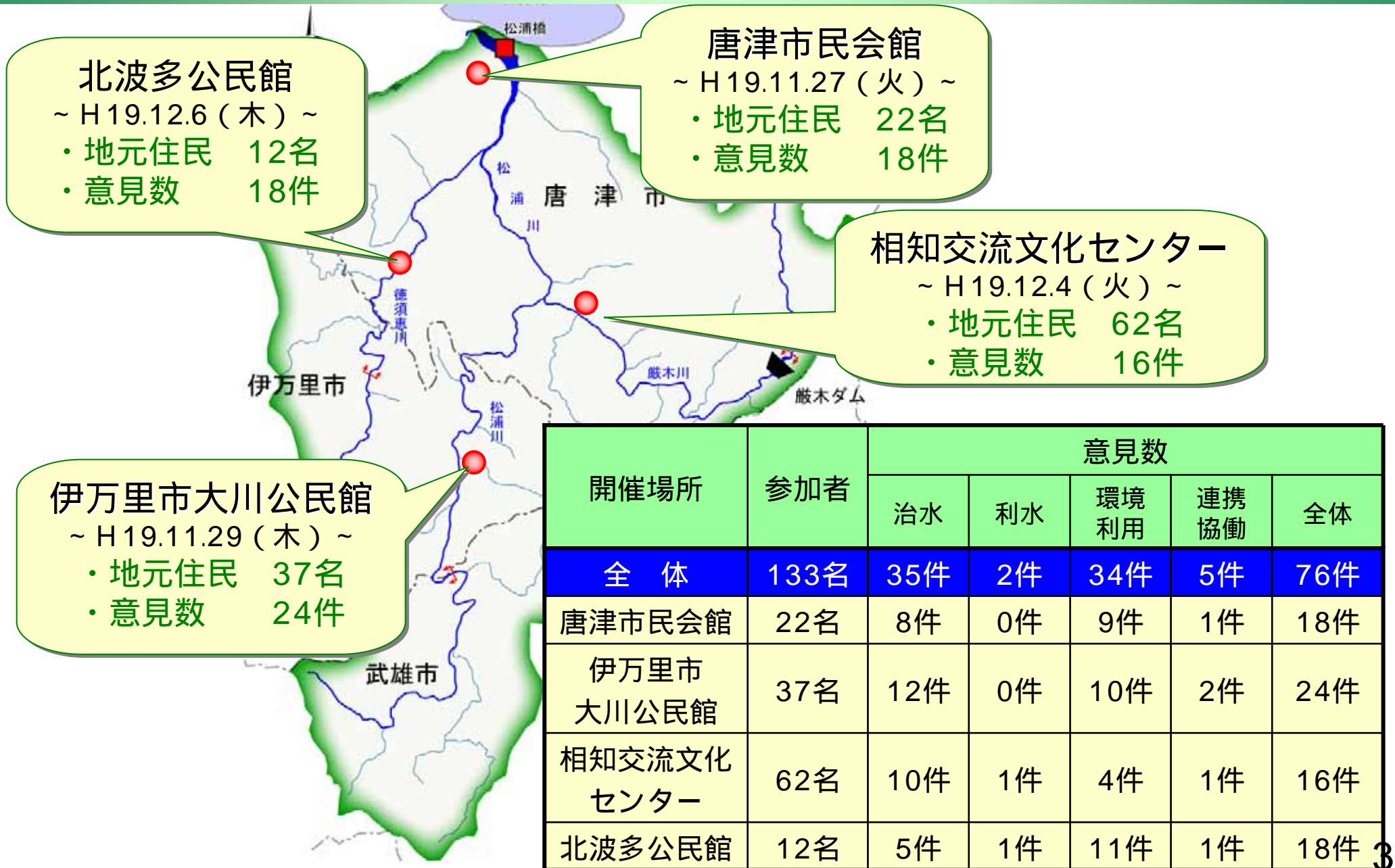
- ・ ハガキ付き概要版配布

アンケートハガキ114枚回収

- ・ ホームページ掲載 意見数：4



意見交換会開催状況



アンケートの内容

Q . あなたが松浦川に行く頻度と、その目的をお教え下さい

頻度 (ほぼ毎日、 月に数回、 年に数回、 行かない)
目的 (散策等、 釣り等、 水遊び、 キャンプ、 その他)

Q . 松浦川にどのような川づくりを望みますか？

安全・安心で水害のない川づくり
瀬や淵があり自然の川の流れがある、緑豊かな川づくり
水遊びや散策など憩いの水辺があり、楽しめる川づくり
松浦川の歴史・文化に根ざした川づくり

Q . 松浦川をさらに魅力ある河川にするために、何を充実すべきですか？

災害対策 (堤防等の整備	水防活動	避難誘導支援	危機管理を考えたまちづくり支援)
利水 (生活用水の確保	農業用水の確保	湧水時の河川流量の確保)	
環境 (自然豊かな河川の保全・再生	氾濫原的湿地や旧川部の保全・再生		
	歴史・文化景観保全・再生)			
環境 (堰等への魚道設置	水際へのアクセス性向上	自然体験や環境学習の拠点整備)	
環境 (河川内水質浄化	水質汚濁源対策	不法投棄実態の公表	
	不法投棄取締りの強化	地域での河川美化・清掃活動	河川愛護意識の向上)	
維持管理 (堤防等河川管理施設の維持管理	堤防除草	河川内の堆積土砂撤去	
	河川内の樹木伐採)			
地域連携 (流域全体の交流促進	地域活動の支援)		
情報発信 (堤防整備等状況	防災情報	利活用拠点情報	生物分布情報
	歴史・文化関係情報	イベント情報)		

アンケート聴取状況



アンケート総集計数：318通

ブロック	アンケート数 (該当地区にお住まいの方のご意見)
全体	318通
松浦川下流地区	46通
松浦川中流地区	40通
松浦川上流地区	28通
徳須恵川地区	20通
巖木川地区	94通
流域外	41通
不明	49通

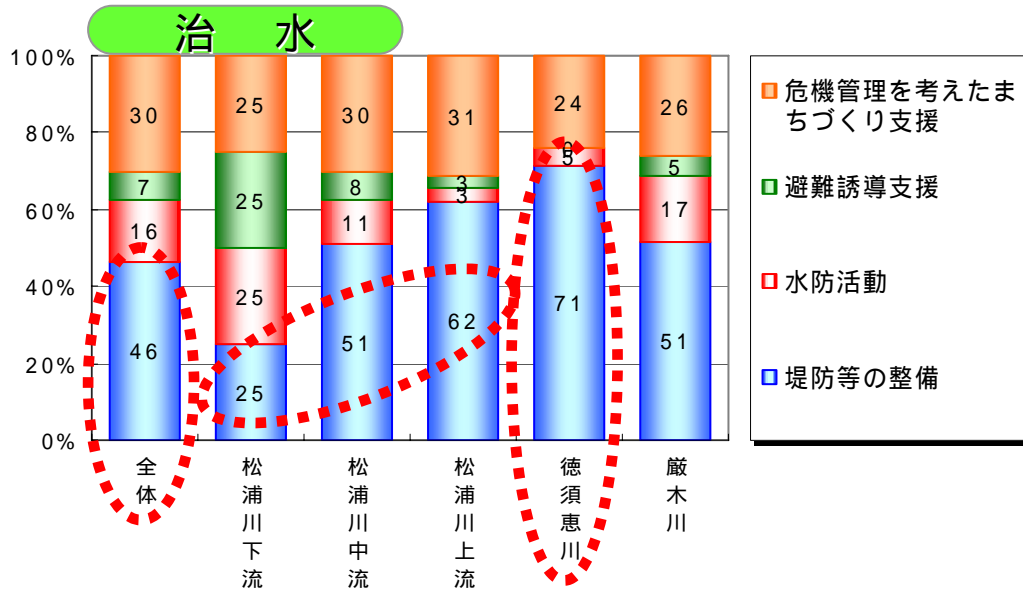
意見箱設置箇所：19箇所

佐賀県庁、唐津土木事務所、伊万里土木事務所、武雄土木事務所、唐津市役所、唐津市北波多支所、唐津市相知支所、唐津市巖木支所、伊万里市役所、武雄市役所、道の駅巖木、道の駅伊万里、JA唐津逢地の里直販所、巖木ダム管理所、唐津港湾事務所、武雄河川事務所、武雄河川事務所松浦川出張所、相知文化交流センター、巖木コミュニティセンター

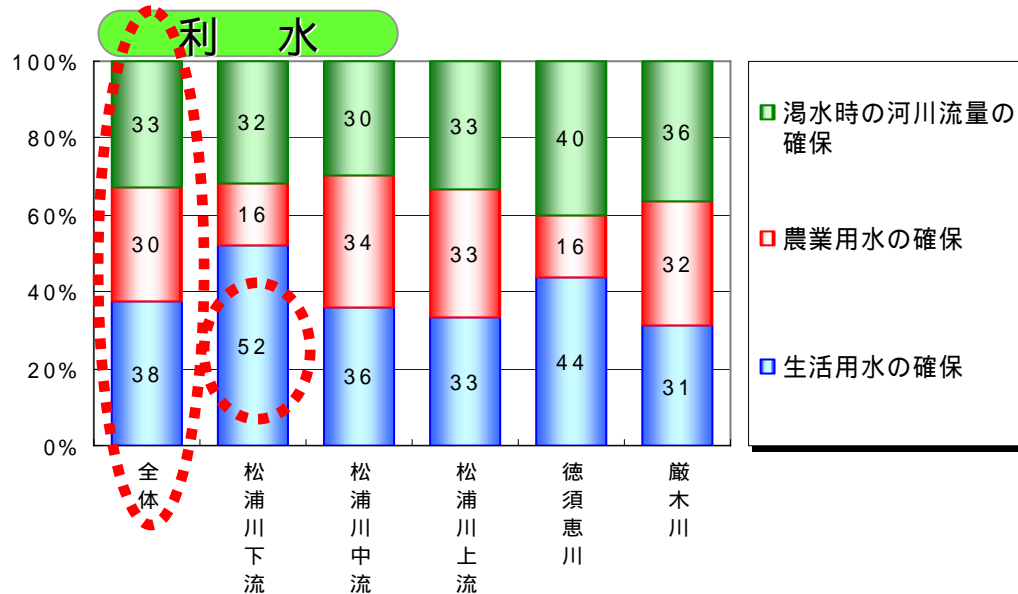
意見交換会会場にも設置

関係住民の意識調査結果（治水・利水）

以下は、アンケート方式で得られたアンケート結果を項目及び河川別に分類したものです。



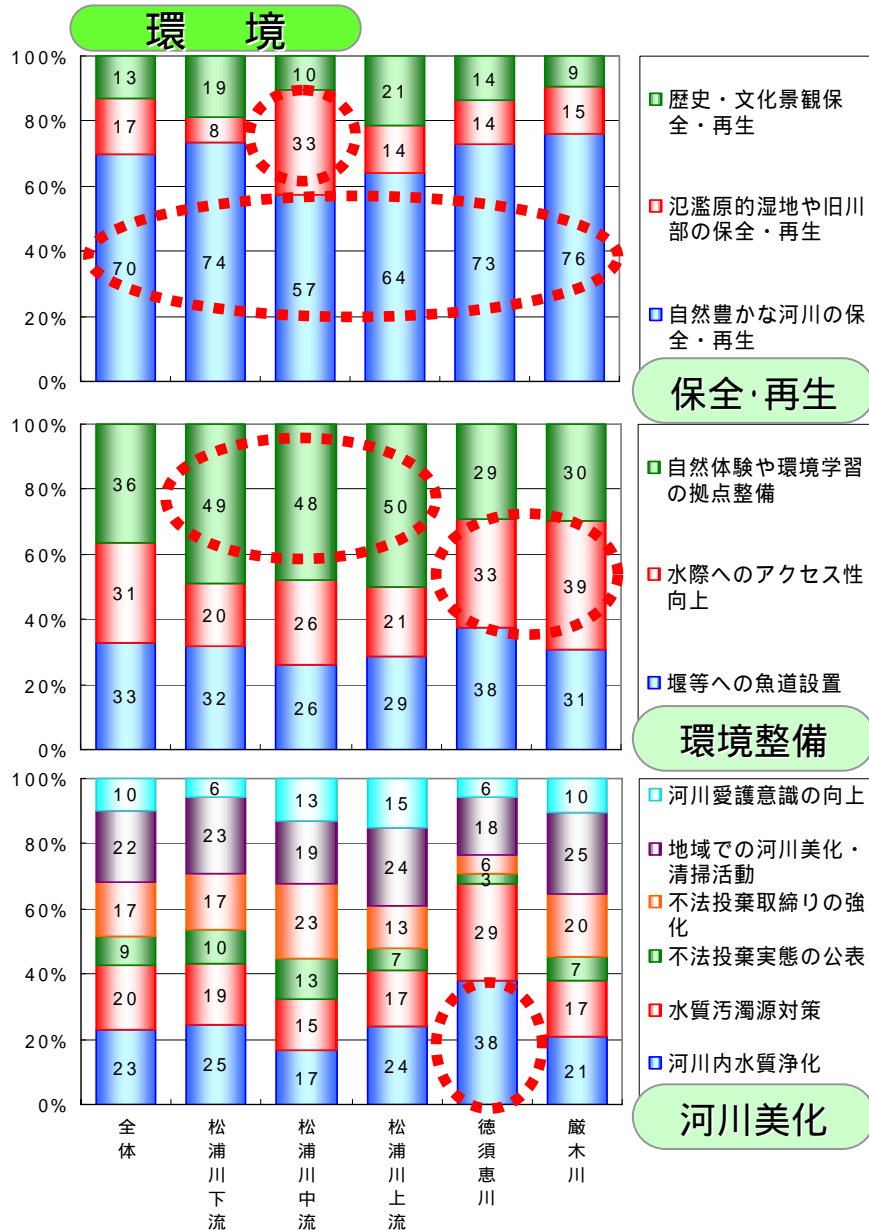
- ◆全体では、**堤防等の整備**に続いて、**危機管理を考えたまちづくり支援**に関心が高い。
- ◆堤防整備が遅れている上流部ほど、**堤防等の整備**に関心が高い。一方で、下流では、**水防活動**、**避難誘導支援**などのソフト対策が比較的関心が高い。
- ◆平成18年に浸水被害が発生した徳須恵川は、**堤防等の整備**に特に関心が高い。



- ◆全体では**生活用水の確保**への関心が高いが、都市部を抱える松浦川下流において、特に関心が高い。
- ◆一方で、中上流部では**農業用水の確保**への関心が低い。
- ◆**渇水時の河川流量の確保**は、一様に関心が高い。

関係住民の意識調査結果（環境）

以下は、マークシート方式で得られたアンケート結果を項目及び河川別に分類したものです。



～保全・再生について～

- ◆全体及び各地区とも、**自然豊かな河川の保全・再生の関心が高い。**
- ◆アザメの瀬自然再生事業を実施中の松浦川中流において、**氾濫原的湿地や旧川部の保全・再生**が他の地区に比べて関心が高い。

～環境整備について～

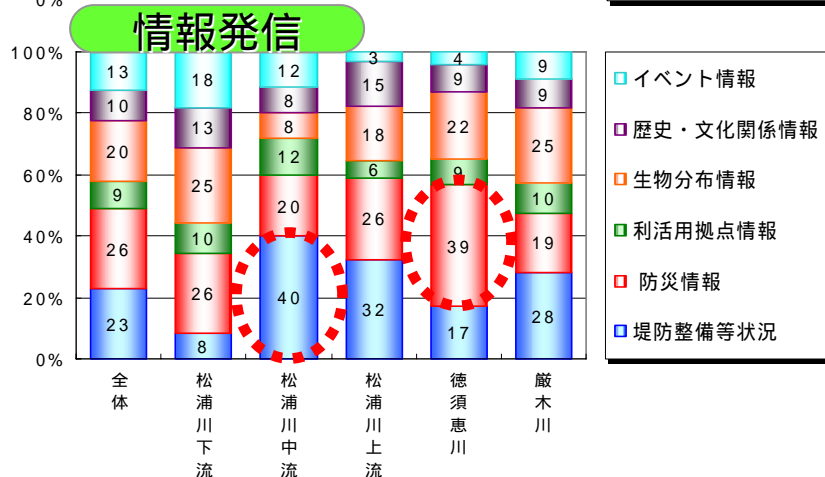
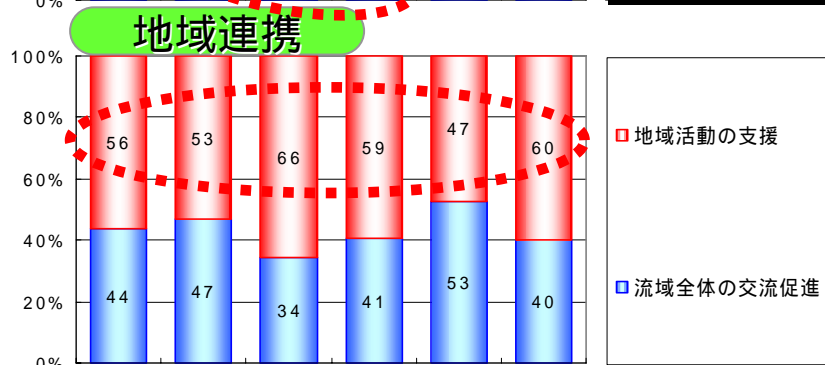
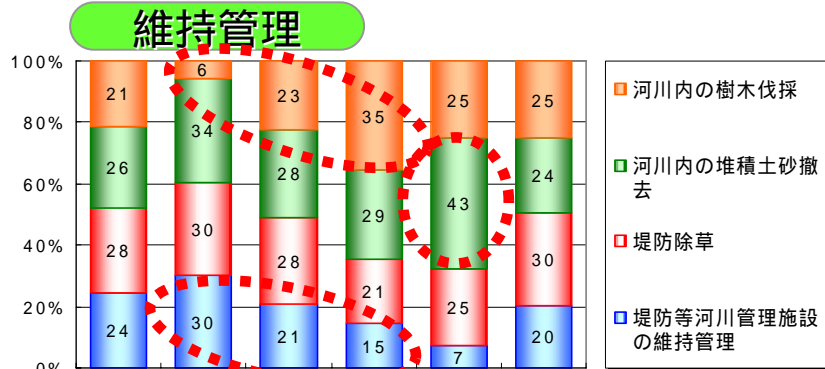
- ◆全体では、どの項目も一様に関心が高い。
- ◆松浦川において、他の地区に比べ、**下流～上流とも自然体験や環境学習の拠点整備**に関心が高い。

～河川美化について～

- ◆全体では、**河川内水質浄化や水質汚濁源対策、地域での河川美化・清掃活動**への関心が高い。
- ◆徳須恵川は他の地区に比べ、**河川内水質浄化や水質汚濁源対策**などの水質改善への関心が高い。

関係住民の意識調査結果（維持管理、地域連携、情報発信）

以下は、アンケート方式で得られたアンケート結果を項目及び河川別に分類したものです。



- ◆全体では、どの項目も一様に関心が高い。
- ◆松浦川については、下流に行くにつれ堤防等河川管理施設の維持管理が、上流に行くにつれ河川内の樹木伐採の関心が高くなっている。
- ◆徳須恵川は、他の地区に比べ、河川内の土砂撤去の関心が高い。

- ◆全体および各地区とも流域全体の交流促進よりも、地域活動の支援が約6割と関心が高くなっている。

- ◆全体では、防災情報、堤防整備等状況、生物分布情報の順に関心が高い。
- ◆松浦川中流については、他の地区に比べ、堤防整備等状況に関心が高い。
- ◆徳須恵川については、他の地区に比べ、防災情報の発信への関心が高くなっている。

意見の反映について

住民意見交換会・住民アンケートによる意見集計結果

以下は住民意見交換会（76意見）及び住民アンケート（176意見）による意見をカテゴリー別に整理した結果、47個の意見となりました。（資料 - 2 参照）

カテゴリー	治水	利水	環境・利用	連携・協働	計
意見数	19	2	17	9	47

治水	<ul style="list-style-type: none"> ・全川的に安全安心の川づくりを求める声が多く、特に本川上流部や巖木川等の上流部において早急な治水整備を求める声があがっています。 ・また、樹木伐採、土砂撤去などの適切な維持管理を求められています。
利水	<ul style="list-style-type: none"> ・維持流量の確保、渇水時の農業用水の確保が求められています。
環境利用	<ul style="list-style-type: none"> ・環境面では、全川的に自然豊かな川づくりを求める声が多く、特に魚道整備や外来種対策を求める声があがっています。 ・利用面では、自然体験や環境学習の拠点整備を求める声が多く、特に土井地区や大黒井堰周辺の拠点整備を求める声があがっています。 ・また、川と親しむための整備として散策路、サイクリング道路の整備を求める声があがっています。
連携協働	<ul style="list-style-type: none"> ・流域全体を視野（水系一貫した整備）に入れた川づくりが求められており、また、そのためにも川に対して住民が関心を持つような取り組みを求める声が多くあがっています。特に、分かり易い情報の提供やイベントの開催など

分野別の主な意見（治水）

1. 水害のない安全・安心な河川整備を（未整備地区を早急に整備）
2. 本川上流大川野地区の浸水解消のため城野川合流点の築堤整備を
3. 本川上流川西地区24k200右岸、桃川地区29k000右岸の堤防整備を
4. 本川上流川西地区の河道掘削にあたり、松葉橋を残せないか。
5. 本川上流桃川地区の河道掘削にあたり、上松浦鉄道橋及び桃川新橋の改築計画が無いが、安全に洪水を流せるのか。
6. 徳須恵川合流点付近土井地区の旧川部の治水整備をして欲しい。
7. 巖木川湯屋地区の治水整備をして欲しい。
8. 徳須恵川石志地区の治水整備をしてほしい。
9. 徳須恵川徳須恵地区～行合野地区の河道掘削を行って欲しい。
10. 巖木川町切地区の治水対策を早急に。
11. 堤防・護岸を補強し、安全を確保して欲しい。
12. 内水対策をして欲しい。
13. 工事に伴う濁水の防止など、工事実施時にも環境に配慮して欲しい。
14. 治水と環境のバランスの取れた川づくりをしてほしい。
15. 流下阻害となっている河川内の樹木や河岸沿いの竹林の伐採をしてほしい。
16. 流下阻害となっている河川内の土砂を撤去してほしい。
17. 堤防の除草を定期的に行って欲しい。
18. 堤防や樋管など施設の維持管理（点検・改良・補修など）を継続的にしてほしい。
19. 計画規模を超える洪水を想定した対策を。

《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見（1）

水害のない安全・安心な河川整備を（未整備地区を早急に整備）

学識者意見：

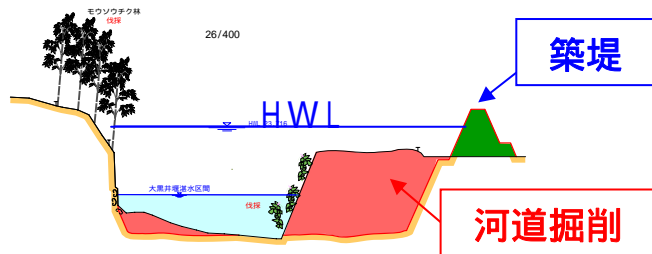
家屋浸水の防止とは床上か床下か。家屋浸水すべての防止は過大ではないか。

近年最大規模である平成2年7月洪水相当の洪水に対して、家屋浸水を防止することを目標に整備を実施することとしています。

整備計画における整備目標検討フロー

一次検討

整備計画目標流量においてHWL（計画高水位）で流下できる河道を検討



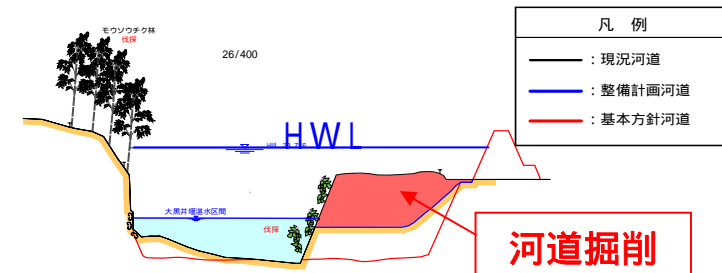
膨大な事業費（事業の遅れにより3川の整備バランスが取れない）

歴史的価値の高い大黒井堰や馬ノ頭堰等の改築が必要

早期に被害軽減効果が期待できない

二次検討

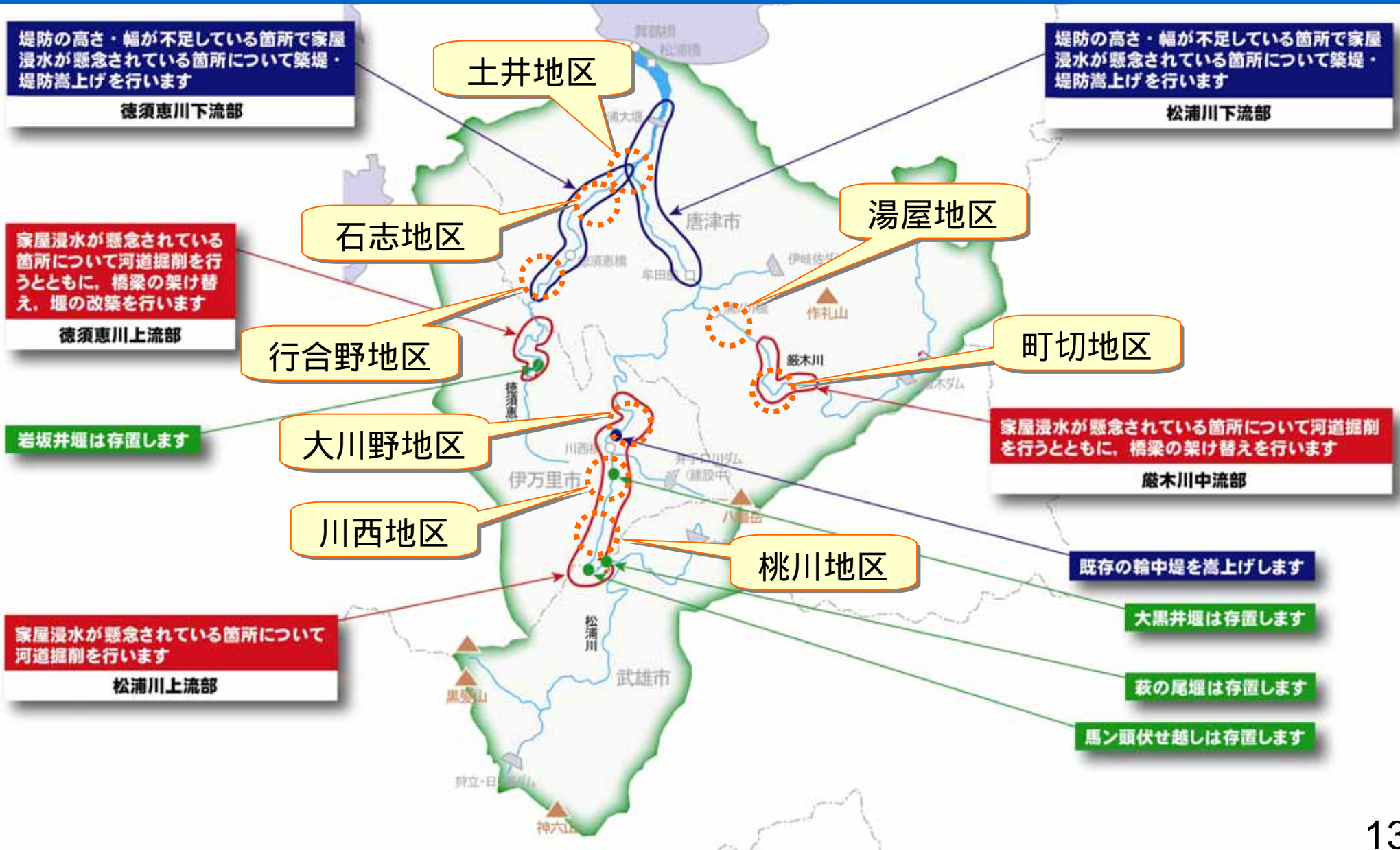
経済性、早期の被害軽減効果（家屋浸水の防止）の観点から複数案を検討し、概算事業費により最適案を抽出。



整備目標：
家屋浸水を防止する河道

《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見（1-2）

治水対策要望箇所



《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見(2, 3, 4)

本川上流大川野地区の浸水解消のため、城野川合流点(23/200付近)の築堤整備を

松浦川本川の河道掘削を行い本川水位を低下させ、城野川合流点から逆流する水量を減らすことにより、家屋浸水を防止することとしています。そのため、築堤は実施しないこととしています。

本川上流川西地区右岸(24/500付近)、本川上流桃川地区右岸(29/000付近)の堤防整備を。

河道掘削を主体とした整備により、川幅を拡幅し、洪水時の河川水位を低下させ、家屋浸水を防止することとしています。そのため、築堤は実施しないこととしています。

本川上流川西地区の河道掘削にあたり、松葉橋(25/500付近)を残せないか。

治水上支障があるため、河道掘削に伴い撤去する計画としています。ただし、日常生活に支障をきたすとの意見も出されていることから、既設構造物の撤去等にあたっては、従前からの機能を踏まえつつ地域住民との合意形成を図りながら実施する必要があることから、その旨、記載しました。P99

《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見（5, 6, 7）

本川上流桃川地区の河道掘削に、上松浦鉄道橋(27/500)及び桃の川新橋(28/500)の改築計画が無いが、安全に洪水を流せるのか

河道掘削により河道内水位が低下し、上松浦鉄道橋及び桃の川新橋地点においても流下能力が向上するため、家屋浸水を防ぐことが可能です。なお、両地点においても、整備計画目標流量の河道内流下が可能となることを確認しています。

徳須恵川合流点付近土井地区(6/600)の旧川部の治水整備をして欲しい

HWLより低い位置に家屋があり、堤防高が不足する箇所からの浸水による家屋浸水の発生が懸念されることから、築堤を実施することとし、その旨、記載しました。P101,P102

巖木川湯屋地区(3/000付近)の治水整備をして欲しい

HWLより高い位置に家屋があり、堤防高が不足する箇所からの浸水による家屋浸水の発生が懸念されないことから、築堤を実施しないこととしています。なお、隣接県道改良と連携した整備要望については、引き続き、県・市と連携し対応します。

《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見(8, 9, 10)

徳須恵川石志地区の治水
整備をして欲しい

HWLより低い位置に家屋があり、堤防高が不足する箇所からの浸水による家屋浸水の発生が懸念されることから、堤防嵩上げを実施することとしています。

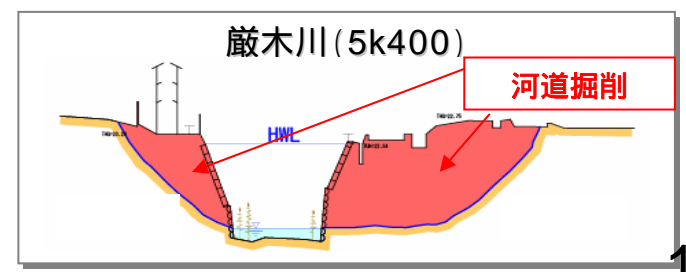
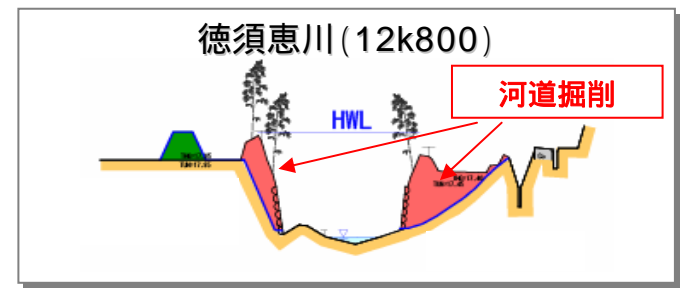
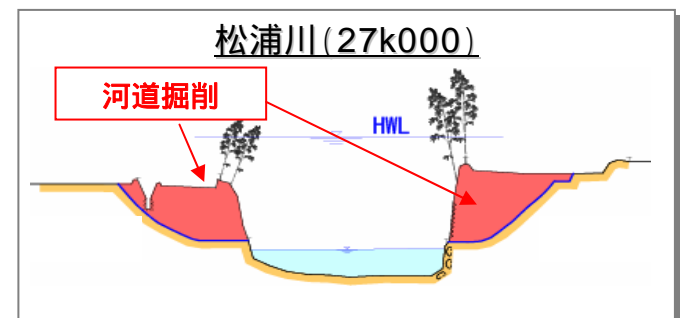
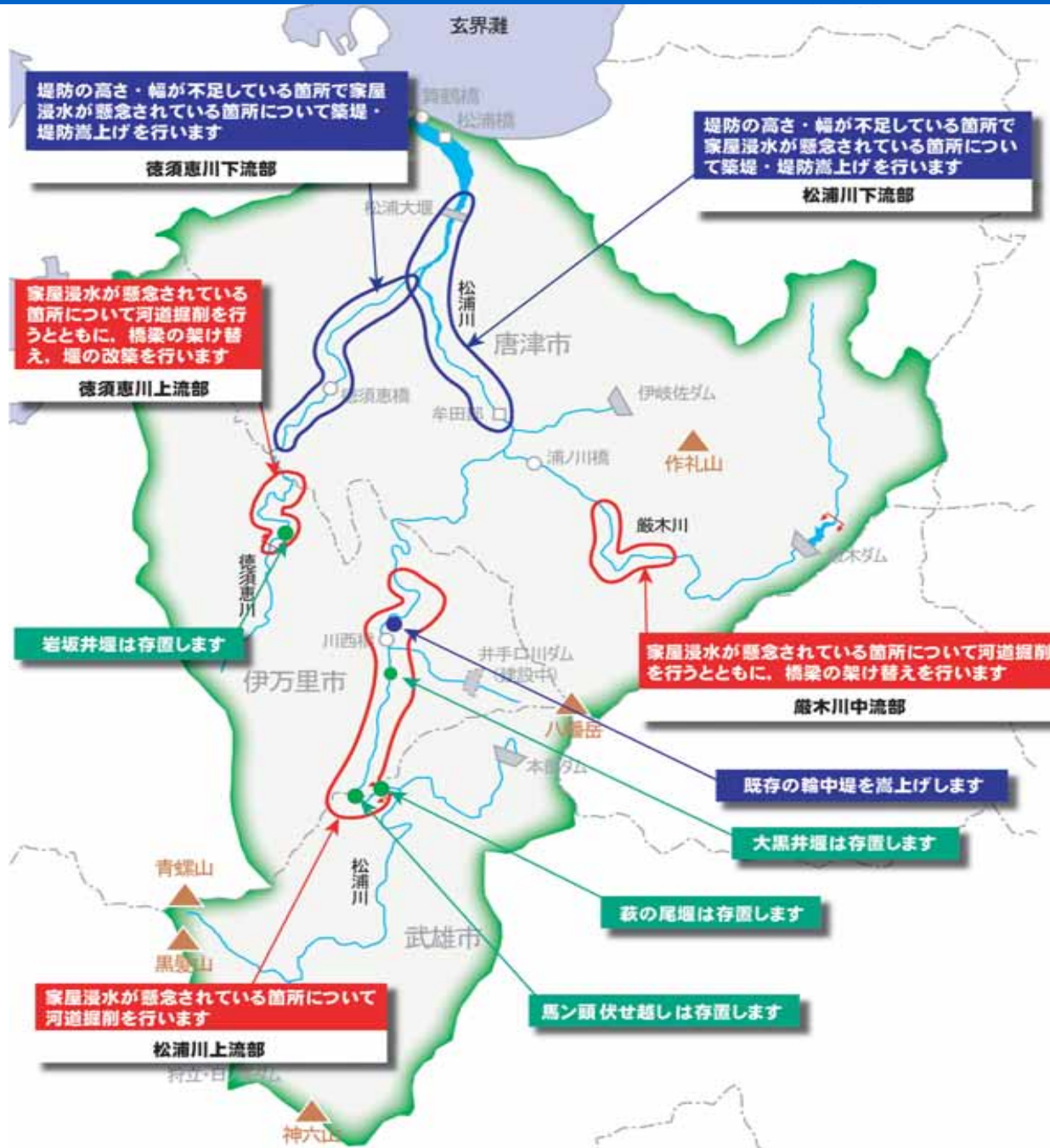
徳須恵川徳須恵地区～
行合野地区の河道掘削を
行って欲しい

HWLより低い位置に家屋があり、堤防高が不足する箇所からの浸水による家屋浸水の発生が懸念されることから、築堤、河道掘削を実施することとしています。

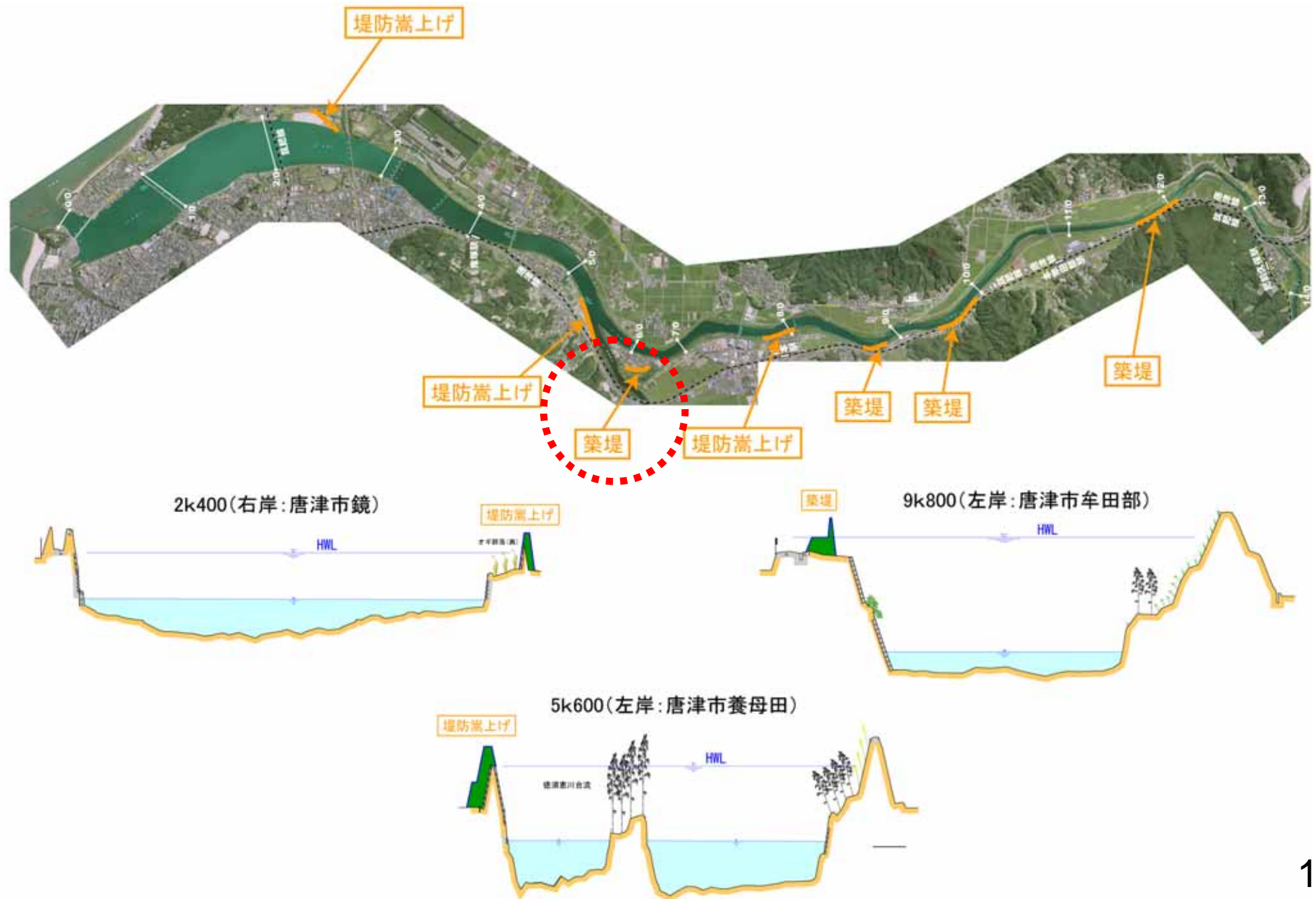
巖木川町切地区の治水対
策を早急に

河道掘削、橋梁改築により、川幅を拡幅し、洪水時の河川水位を低下させ、一部築堤を実施することにより、家屋浸水を防止することとしています。

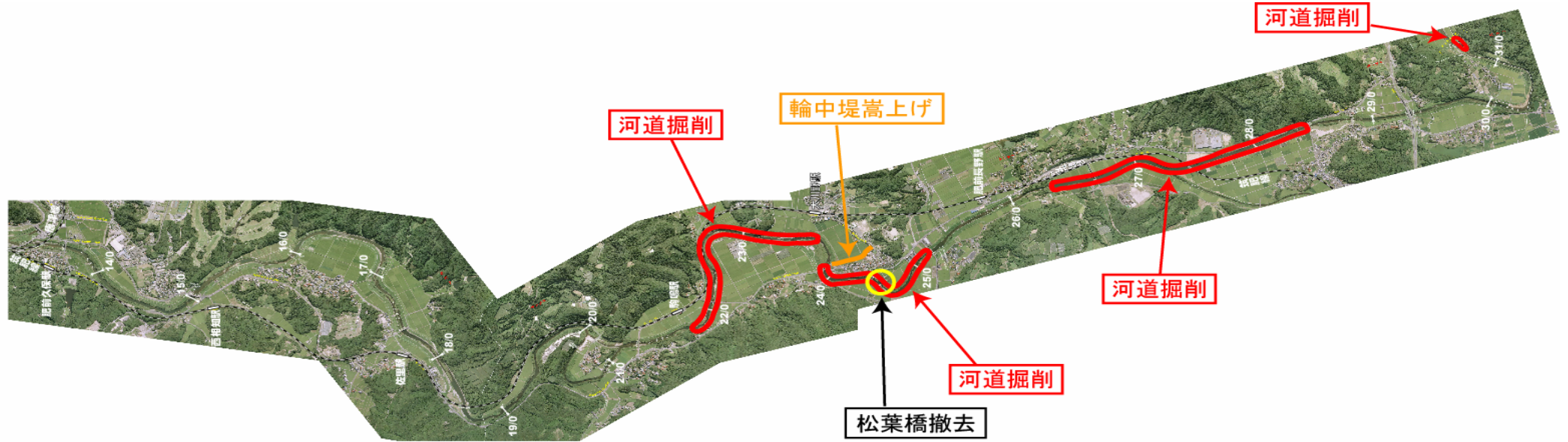
整備メニュー（案）



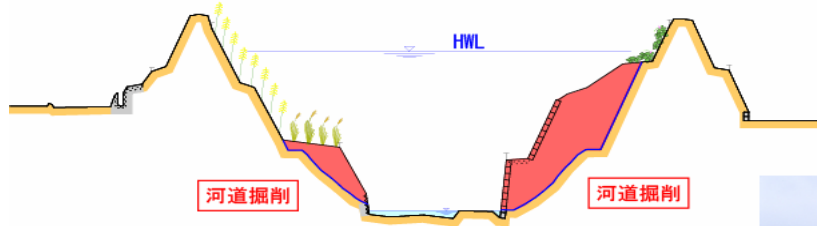
整備メニュー（案）【松浦川：下流】 松浦川河口～巖木川合流点



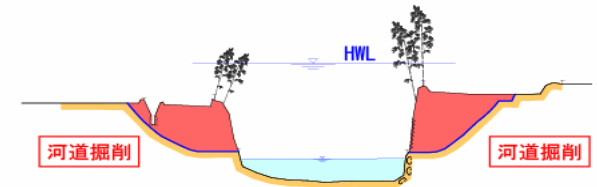
整備メニュー(案)【松浦川:上流】 巖木川合流点～松浦川上流端



23k400 (左岸:伊万里市大川町川西, 右岸:大川野)

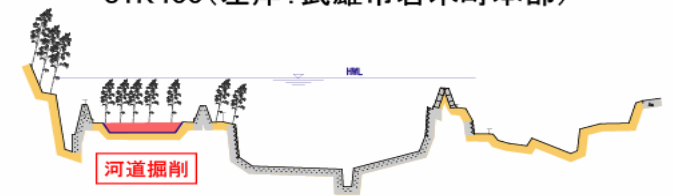


27k000 (左岸:伊万里市松浦町提川, 右岸:大川町川原)

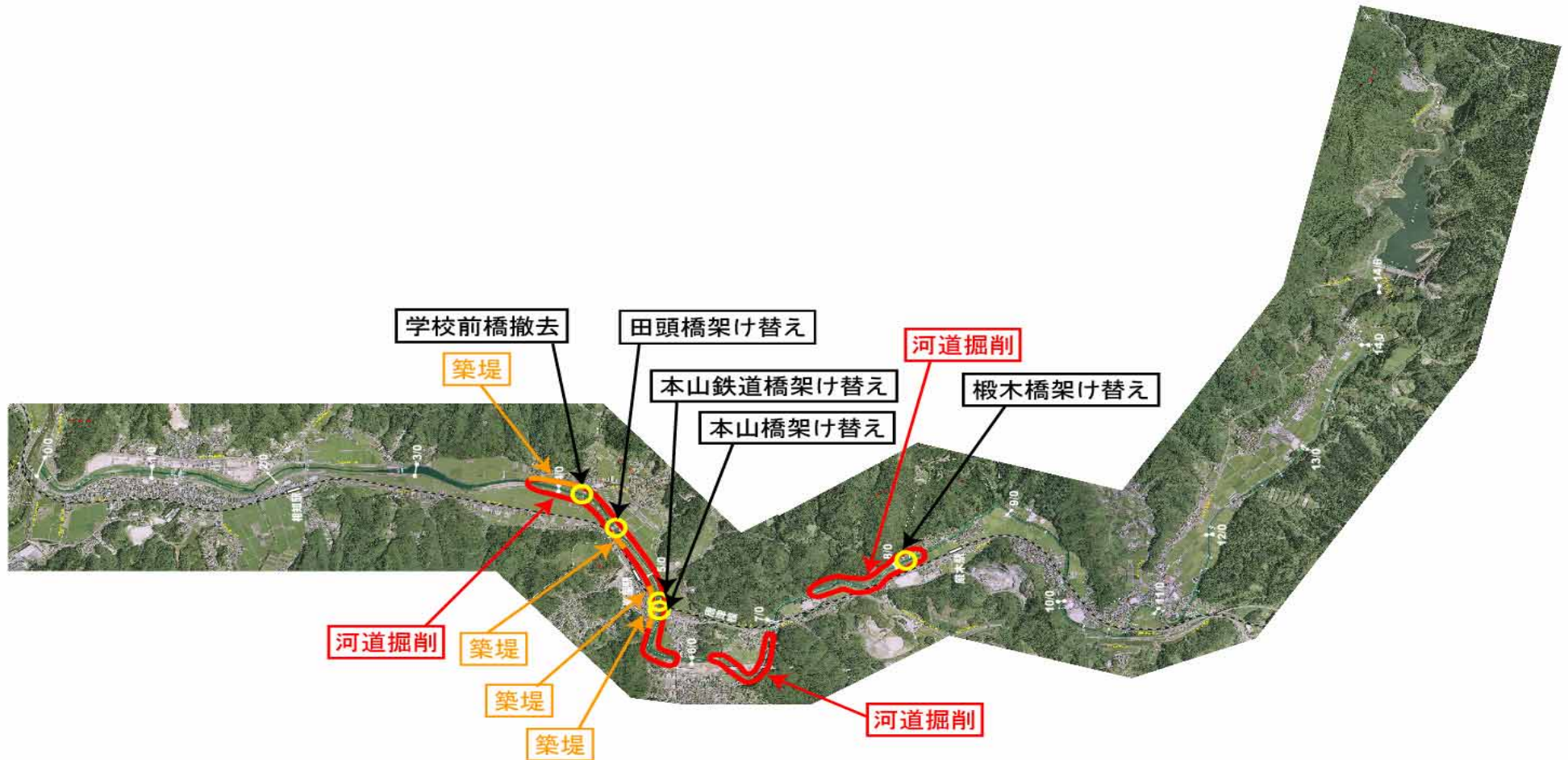


輪中堤嵩上げ整備箇所

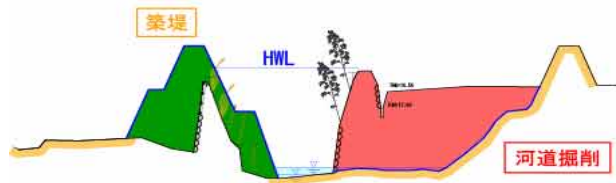
31k400 (左岸:武雄市若木町本部)



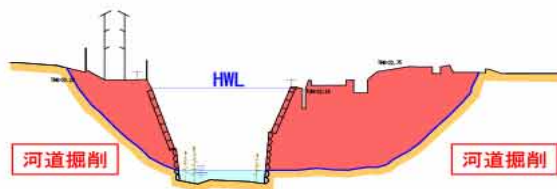
整備メニュー(案)【厳木川】



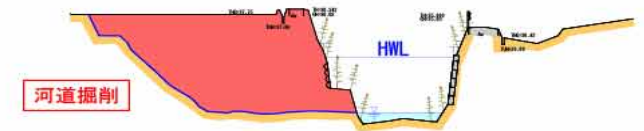
4k600 (左岸:唐津市厳木町本山, 右岸:相知町田頭)



5k400 (左岸:唐津市厳木町本山, 右岸:相知町町切)



8k000 (左岸:唐津市厳木町厳木)



《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見（11, 12）

堤防・護岸を補強し、安全を確保して欲しい



堤防の安全性の点検を行い、堤防強化対策が必要な箇所については、順次対策を実施し、機能の維持や安全性の確保を図っていくこととしています。

内水対策をして欲しい。



過去の被害実績や浸水特性、土地利用状況等を踏まえて、今後の浸水実績に応じて、関係機関と連携して対応していくこととしています。

《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見（13, 14）

治水と環境のバランスの
取れた川づくりをしてほし
い

学識者意見:

▶基本理念や3つの基軸は、これらの基軸
を結びつけるような概念が記述されるべき
ではないか。

河道整備にあたっては、掘削形状の工夫等により環
境面へ配慮する旨記載していますが、

基本理念とした「歴史と文化の継承安らぎと緑ゆた
かな松浦川」の実現にあたっては、治水・利水・環境
の三つの項目を基軸としつつ、相互のトレードオフの
関係を総合的に調整した上で具体的な目標を設定
し取り組む必要があることから、その旨を記載しまし
た。P89

工事に伴う濁水の防止など、
工事実施時にも環境に配慮
して欲しい

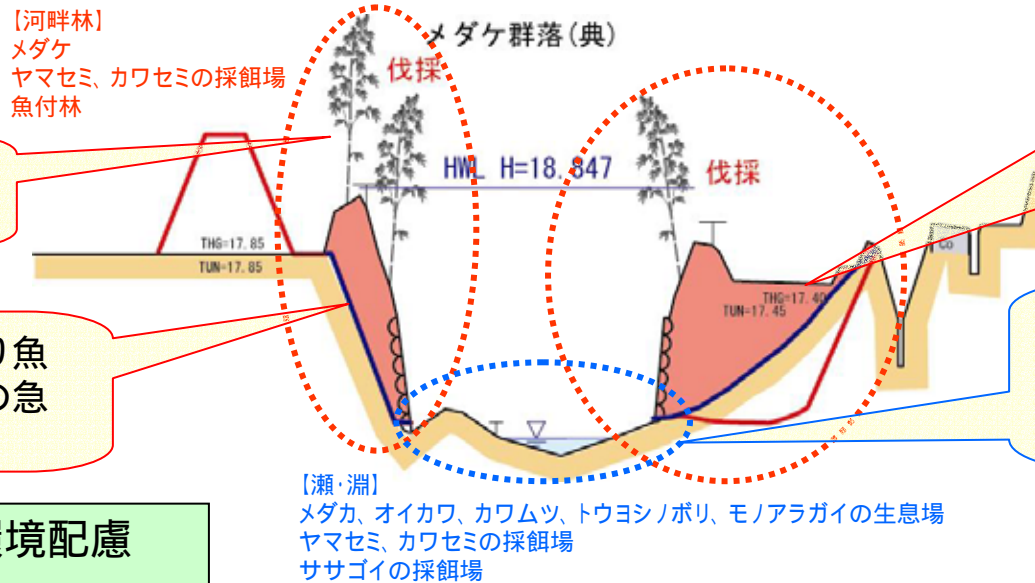
学識者意見:

▶改修が行われると生息環境が消滅する
のではないかと懸念している。

河道整備にあたって、掘削形状の工夫等による配
慮の他、更に、当該工事によって生物の生息及び
繁殖等への影響が想定される場合は、生物への影
響を極力小さくするよう努める必要があることから、
その旨を記載しました。P100

《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見（13-2）

工事の際の環境配慮（徳須恵川の例）



緩勾配掘削により水域と陸域の連続性の確保。掘削形状についても水際部に変化を持たせるなど動植物の生息・生育環境の多様化に努める。

平水位以下の河道掘削を行わないことにより、連続する瀬淵を維持し、水域に依存する水生生物の生息・生育環境を保全する。

水害防備林は必要に応じて再生

工事時期の配慮により魚付林が消失する区間の急激な改変を回避する

水留地区工事の環境配慮

施工前



施工中



工事の際の配慮事例（徳須恵川高瀬橋）

水留地区の工事の際に、アブラボテ等の**魚類の生息への配慮**として、土のうを積み水位を調節。

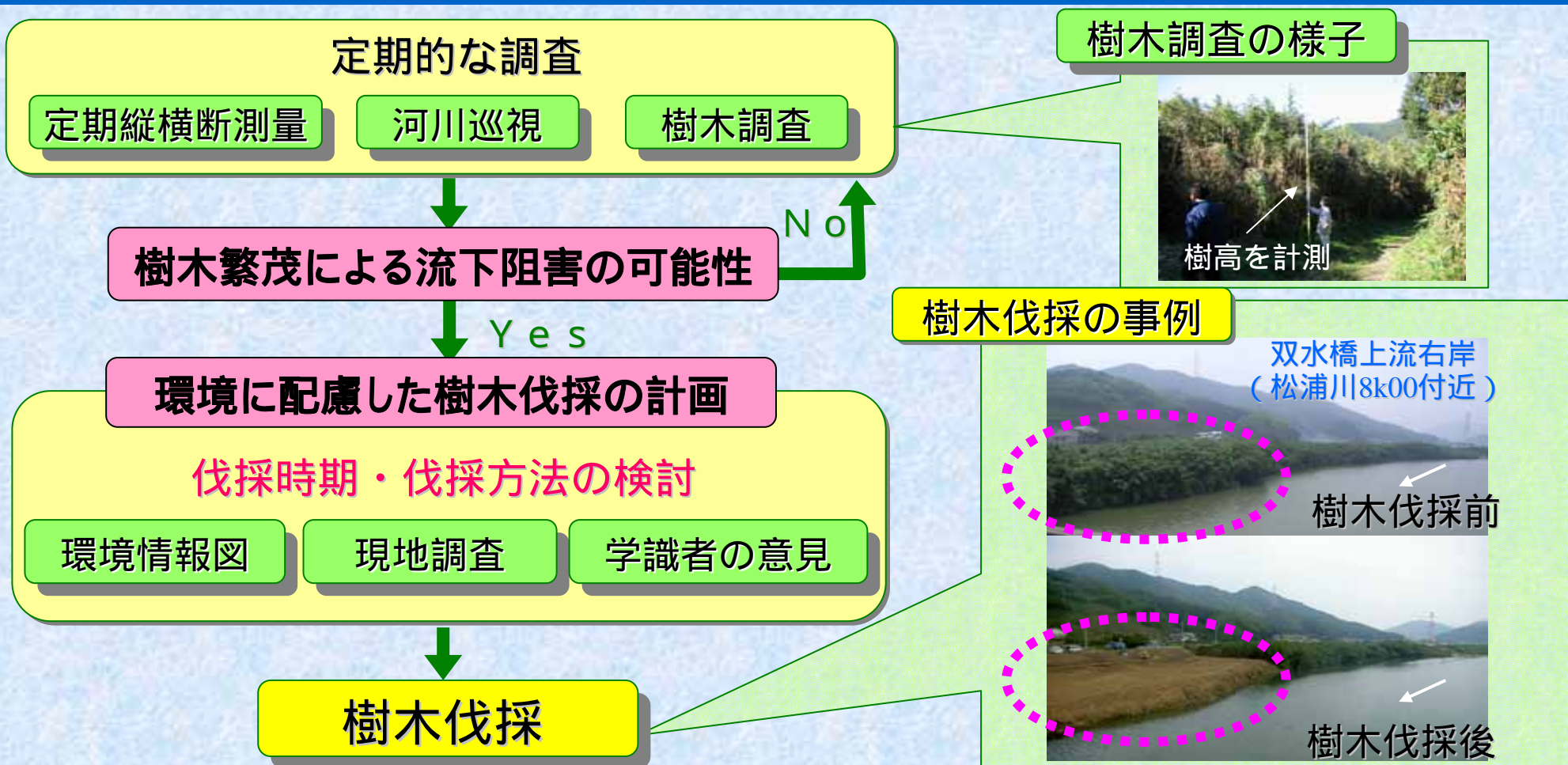


《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、維持》意見（15）

流下阻害となっている河川内の樹木や河岸沿いの竹林の伐採をしてほしい

近年、樹林化してきた箇所も見うけられることから、河道内樹木の繁茂状況をモニタリングするとともに、計画的な伐採を行う旨を、追加記載しました。P130

樹木伐採計画



《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、維持》意見(16,17,18)

流下阻害となっている河川内の土砂の撤去をしてほしい

河道を適切に管理していくため、河道形状について定期縦横断測量を継続的に実施し河川形状の把握に努め、必要に応じて土砂を除去します。

堤防の除草を定期的に行って欲しい

河川巡視や点検時に施設被害、機能不具合等の確認に努め、計画的な補修、施設の更新・改築等を行い、各施設の機能の良好な状態に維持します。また、堤防の変状箇所や早期発見や有害な植生の除去など、堤防の機能を健全に保つために除草を継続して実施します。

堤防や樋管など施設の維持管理(点検・改良・補修など)を継続的に行って欲しい

効果的・効率的な河川の維持管理が求められることから、維持管理については「松浦川維持管理計画(案)」、「松浦川維持管理実施計画(案)」に基づき、維持管理を行うこととし、実施にあたっては、維持管理の状態を把握・分析を通じ、維持管理の状態を評価し、その結果に応じて必要な措置を講じること、また両計画がより具体的な維持管理の基準となるようその内容を適宜充実させる旨を追加記載しました。P129

《治水・河川整備の目標、河川整備の実施、維持》意見（19）

計画規模をこえる洪水等による被害を想定した対策を

学識者意見：

どの程度の雨で湛水するなどのハザードマップのようなものは考えているのか。マイ防災マップづくりの活動等を本文に記載すべきではないか。

既往洪水の実績等も踏まえ、これまで実施してきた取り組みも充実を図り、さらに広域的な支援体制の確立、地域の防災教育の推進等を支援し、平常時からの防災意識の向上を図り、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の構築に努めます。

危機管理対策として、河川情報等の充実と共有を推進するほか、危機管理を考えたまちづくりを更に推進することとしています。

また、更に災害に強いまちづくりを積極的に支援するため、氾濫域での土地利用のあり方等についても関係行政機関と連携した取り組みを実施することとし、その旨記載しました。P148

分野別の主な意見（利水）

1. 水量が少なく魚が生息できないため、水量を増やして欲しい。
2. 農業用水等が安定的に取水できるよう、渇水時の流量を確保して欲しい。

《利水・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事・維持**》意見(1, 2)

水量が少なく魚等が生息できないため、水量を増やして欲しい。

河川水の利用、動植物の保護、流水の清潔の保持等、流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保に努めるため、関係機関との連携を図りながら、適正な水利使用の調整を行います。また、魚類等の生息に環境の保全・再生を行うこととしています。

農業用水等が安定的に取水できるよう、渇水時の流量を確保して欲しい。

渇水時には、渇水に関する情報提供、情報伝達等の体制を整備し、渇水が発生した場合の被害軽減がはかれるよう関係機関と調整し、水利使用の調整が円滑に行えるようにします。また、渇水時の河川環境の保全と取水の安定化等のため、水量・水質の監視を行うとともに、蔵木ダム等の総合運用による補給等の調整を行うこととしています。

分野別の主な意見（環境・利用）

1. 動植物の生息・生育環境の保全・再生を。
2. 魚道の整備や河川から水路へのつながりのある整備が必要。
3. 外来種の駆除をして欲しい。
4. 散策、サイクリング、ジョギングなど、住民が日常生活の中で川を利用できるような整備や拠点の整備をして欲しい。
5. 水辺の楽校整備箇所等、既往施設については点検を行い、改善して欲しい。
6. 川遊びなど、川と親しめるような取り組みを行って欲しい。
7. 松浦川の美しい風景を生かせるような川づくりをして欲しい。
8. 土井地区の旧川部を利用し、川と親しみながら環境学習ができる場の整備をして欲しい。
9. 大黒井堰周辺を川と親しみながら歴史が学べる場の整備をして欲しい。
10. 松浦川河口部において、人と川がふれあえるような整備をして欲しい。
11. 動植物の生息・生育状況に関するモニタリングを継続的に実施して欲しい。
12. 水質の浄化対策や発生源対策が必要。
13. 水質改善のため、松浦大堰を定期的に関開け、土砂や有機物を運搬除去してほしい。
14. 河川空間や水面利用が快適に出来るよう利用促進やルール作りを行って欲しい。
15. 流木やゴミなどの対策をして欲しい。
16. 住民が誇れる美しい松浦川にするため、河川愛護活動が必要。
17. 環境保全に対する意識向上が必要。

《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見（1）

動植物の生息・生育環境の
保全・再生を。

- ・魚がたくさん住む川に
- ・淵や深みを多く
- ・魚道の設置を
- ・シジミが住める川に
- ・鳥も沢山くるように

学識者意見：

- 河川内だけでなく、河川周辺の環境も考慮した河川整備を行うべきではないか。横断的な連続性についても、魚類だけでなく、周辺の他の生物の多様性も含めた記述をしてほしい。
- アザメの瀬については、山のほうからの動物にも配慮しているようだが、整備計画ではどのように考えているのか。

治水・利水との調和を図りつつ、多様な動植物が生息・生育する豊かな自然環境の保全・再生、河川の多様性の再生・確保に努めます。

また、再生が必要な箇所については、先例である「アザメの瀬」での取り組みを模範にしながら、計画を立案し対策を講じていきます。

なお、松浦川は、地域の生態系を維持していく上で重要な役割を担っているということを念頭に河川環境の保全・再生を行う必要があることから、その旨、記載しました。

P54、P97、P111、P112、P114、P119



《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見（2）

魚道の整備や河川から水路へのつながりのある整備が必要。



魚類等の生息・生育環境に配慮し、施設管理者と連携し、必要に応じて魚道を整備します。
また、河川につながる水路等においても、自治体等と連携し必要に応じて連続性の確保に努めます。

魚道整備状況

巖木新井堰



魚道設置前

H20.3完了予定



魚道設置中

本山堰



魚道設置前

H15.3完了



魚道設置後

巖木下堰



魚道設置前

H15.3完了



魚道設置後

今村堰



魚道改築前

H15.3完了



魚道改築後

《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、工事》意見（3）

外来種の駆除をして欲しい。

学識者意見：

➤地域住民と連携し、人工産卵床などの対策を行ってはどうか。

広報・啓発活動、継続的なモニタリングを行うとともに、地域住民や市民団体等と連携し、駆除等の対策を講じる旨を記載してます。実施にあたっては、地域住民や市民団体と連携し効率化に努める旨を、追加記載しました。P75、P120

外来種対策

外来種への対応については、河川管理者だけでなく地域住民や河川利用者の理解と協力を得ることが必要であり、住民等に対する広報・啓発活動、外来種の侵入、持ち込みなどの未然防止、すでに侵入したものについての対策等を講じます。



池の内湖における外来種駆除を目的とした人工産卵床の設置

《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事・維持**》意見(4, 5)

散策、サイクリング、ジョギングなど、住民が日常生活の中で川を利用できるような整備や拠点の整備をして欲しい。

流域の人々の生活の基盤や歴史などを踏まえ、市町村や流域住民等と協議し、役割分担を行い、条件が整ったものは、整備を進めていくこととしています。

整備を進めるにあたっては、沿川の歴史・文化や「まちづくり」と調和した整備が必要との観点に立ち、「まちづくり」と調和した河川空間の整備を地域と協働し進める旨、追加記載しました。P121

また、具体の整備として「堤防等を利用したサイクリングロード」を追加記載しました。P121

水辺の楽校整備箇所等、既往施設については点検を行い、改善してほしい

整備を行った箇所については、市民団体等と連携した「川の通信簿」による点検や地域の実情に精通し公平な立場にある学識経験者等に指導や助言を受けるなど、継続的にモニタリングを実施し、必要に応じて手直し等を行います。

松浦川の河川空間を快適に利用できるよう整備された各種施設等の機能が確保されるよう、関係機関や流域住民等と連携し、適切に維持管理を行う旨を追加記載しました。P144

《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事・維持**》意見(6, 7)

川遊びなど川と親しめるような取り組みを行って欲しい

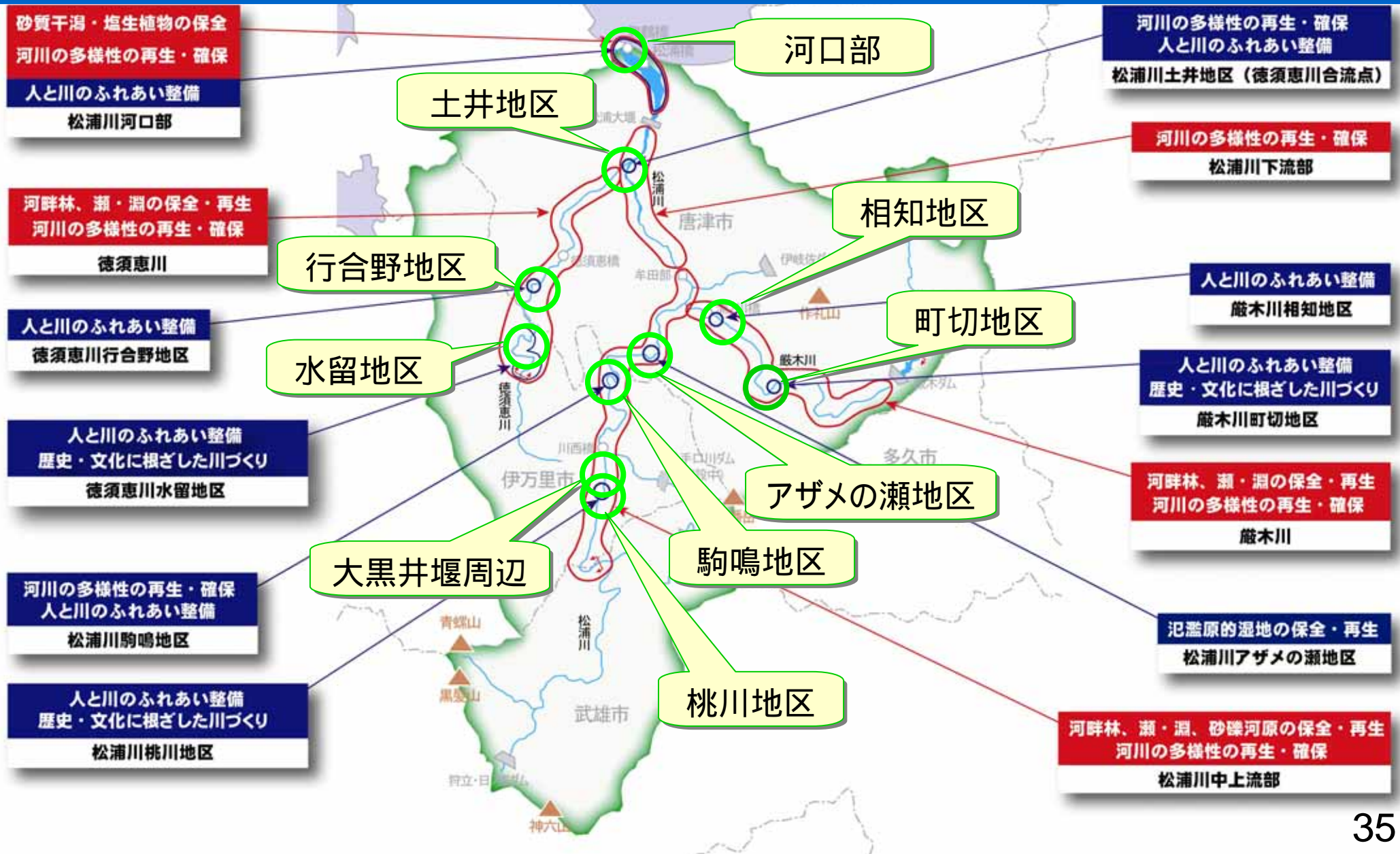
自然体験活動等の機会を提供していくとともに、これからの自然体験活動の指導者育成、環境学習への積極的な支援など、松浦川への関心を高めてもらうための活動を行います。

松浦川の美しい風景を生かせるような川づくりをして欲しい

流域の特性や土地利用、歴史、文化との調和を図り、景観の維持・形成を地域との連携も強化しながら努めます。

《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見（1-2）

環境・利用要望箇所



《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事**》意見(8, 9, 10)

土井地区の旧川部を利用し、川と親しみながら環境学習ができる場の整備をして欲しい

大黒井堰周辺を川と親しみながら歴史が学べる場の整備をして欲しい

松浦川河口部において、人と川がふれあえるような整備をして欲しい

いずれの箇所においても、整備箇所として位置づけております。

整備箇所毎の具体的整備内容については、整備した後も地域に愛される場所となるよう、自然体験や環境学習、水面・高水敷利用など、市町村や地域住民等と協議し役割分担を行い、条件が整ったものから順に整備に取り組むこととしております。

なお、松浦川河口部については、河口部周辺について、人と川がふれあえるような整備が必要であることから、整備箇所の範囲を和多田地区から河口部と変更しました。

P127、P128

《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、維持》意見（11, 12）

動植物の生息・育成状況に関するモニタリングを継続的に実施して欲しい

学識者意見：

- 魚道整備により、外来種が遡上することによって、上流の在来種の混血の恐れがあるのではないか。
- 改修が行われると生息環境が消滅するのではないかと懸念している。

河川特性や動植物の生息・生育状況に関するモニタリングを継続的に実施することとしていますが、河道掘削等により大規模な改変が生じる箇所や魚道等を整備した箇所においても、必要に応じて追跡調査を実施するなど、その影響や効果の把握に努める旨を、追加記載しました。P142

水質の浄化対策や発生源対策が必要

水質調査を定期的、継続的に実施し、動植物の生息・生育環境や水利用に対する影響等を把握します。水質改善へ向けた啓発活動及び水質事故発生時の対応等については、関係機関との連携を強化していきます。

《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、維持》意見(13.14)

水質改善のため、松浦大堰を定期的にかけて、土砂や有機物を運搬除去してほしい

松浦大堰の目的として塩害の防止が含まれており、松浦大堰の常時開放は困難です。

なお、流量が $300\text{m}^3/\text{s}$ 以上になると全ゲートを全開操作しており、洪水時は通常の河道状態となっていることから、今後とも引き続きモニタリングを継続していくこととしています。

河川空間や水面利用が快適に出来るよう利用促進やルール作りを行って欲しい

松浦川の魅力を向上させるよう、河川の特長や地域の特性に応じた適正な河川利用の促進に努めます。また、適正な利用がなされるよう、必要に応じて利用者や関係機関、地元住民等と調整し、ルール作りを行います。

《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、**維持**》意見(15,16)

流木やゴミなどの対策をして欲しい



地域住民及び企業等の参加による河川美化・清掃活動を自治体と連携して支援し、美化意識の向上を図ります。

住民が誇れる美しい松浦川にするため河川愛護活動が必要



河川愛護団体や自治体、国、県のそれぞれで役割を分担・連携し、地域活動・地域コミュニティーによる河川美化や維持管理に対する取り組みを推進します。

《環境・河川整備の目標、河川整備の実施、**工事・維持**》意見(17)

環境保全に対する意識向上が必要

武雄河川事務所では、環境ISOを導入し、環境保全に対する意識向上に努めています。河川事業を推進する過程での措置や河川管理行為に対する措置において、継続的に地球環境と河川環境への負荷の回避・低減を図っていきます。

ISOの取り組み

廃棄物の発生・抑制に努める



工事発生品の有効活用

河川の水質保全に努めます



水質事故発生時に迅速に対応

環境保全啓発活動に努めます



川に親しむイベントを実施



除草工事の刈草リサイクル

省エネルギー・省資源・リサイクルの推進、廃棄物の発生・抑制に努める
公共工事に伴う環境負荷の低減に努める
人と自然にやさしい川づくりに努める
河川の水質保全に努める
地域社会とのコミュニケーションを図り、環境保全啓発活動に努める
環境保全に関連する法令等及び事務所が受け入れを決めたその他の要求事項を遵守する
環境教育・広報活動などにより、全職員に環境方針の周知徹底を図り、環境保全に対する意識の向上に努める

分野別の主な意見（連携・協働）

1. 流域全体を視野に入れた川づくりを行ってほしい。
2. 水系一貫の河川管理をして欲しい。
3. 河川改修や環境・利活用整備は、地元意見を尊重して整備を進めてほしい。
4. 住民・行政が協働して川づくりを考えるべき。
5. 将来の地域を担う子どもたちへの環境学習が必要。
6. 川のアピールをうまく分かり易くしてほしい。また、分かり易い情報を提供して欲しい。
7. 川を大切に思えるようにしてほしい。
8. イベントをしてほしい。
9. 松浦川の水量や水質、施設、工事計画等の情報を提供してほしい。

《河川整備の目標、河川整備の実施、**連携・協働**》意見(1,2)

流域全体を視野に入れた川づくりを行って欲しい

水系一貫の河川管理をしてほしい

学識者意見:

- ▶松浦川における総合的な取り組み「川と人と地域の繋がり」が表現できるような概念を持った記述にした方がよい。
- ▶今までの流域検討会において多くの地域の方々の意見が出ているが、総合的な取り組みの部分で、それらの意見を踏まえた具体的な取り組みをもっと記述するべきではないか。

治水・利水・環境全ての分野において、河川単独での取り組みではなく、流域として捉えた中での河川の位置づけ、役割を再認識しつつ流域一体となった取り組みが必要であり、地域の防災力の向上、河川の水質改善等、様々な取り組みにあたって、従来の河川行政の枠組みを超え、関係行政機関、県、市及び地域住民、住民団体等の多様な主体が連携、さらには協働出来るよう取り組むこととしております。

また、流域全体を視野に入れた取り組みにあたっては、PDCAサイクルの手法を用いて、これまで実施してきた取り組みを、適切に評価、改善する旨、記載しました。P147～P152

《河川整備の目標、河川整備の実施、連携・協働》意見(3,4)

河川改修や環境・利活用整備は、地元意見を尊重して整備を進めてほしい

住民・行政が協働して川づくりを考えるべき

松浦川を良好な状態で後生に引き継ぐため、関係行政機関はもとより、広く地域住民、市民団体等の多様な主体が連携、さらには協働できるよう取り組むこととし、人と川の交流の場の保全・再生を図るとともに、佐賀水ネットによる連携強化や新たな情報ネットワークを形成するなど、流域連携の向上を支援。

また、情報共有、環境教育等の充実を図るとともに河川愛護の啓発活動等の実施により、住民と協働による松浦川づくりを推進する旨、追記しました。P148～P149



小学校児童による水生生物調査



地域住民による河川清掃活動

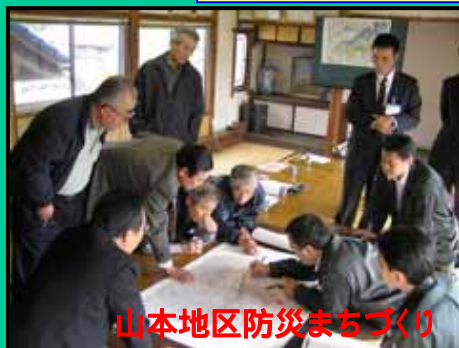
《河川整備の目標、河川整備の実施、連携・協働》意見(3,4)-2

流域検討会での主な意見

歴史的文化遺産である井堰の保全を考えた治水整備	防災対策、防災意識の向上	魚道の整備、改善
ゴミ・不法投棄対策	河川利用	歴史・文化に根ざした川づくり
川の博物館	語り部の達人	歴史を学ぶ施設
情報の共有化	関係機関、地域住民等との連携	景観と利用を考慮した河川整備
地域の将来を担う人材の育成・発掘	地域による川を大事にする取り組み	流域連携
	流域拠点ネットワーク構築・充実	防災に強いまちづくり
		など

整備計画（案）の考え方にに基づき、事務所が取り組んでいる事例

地域と連携した取り組み



山本地区防災まちづくり



宿地区防災まちづくり



中山地区水辺検討会



土井地区川辺の会

川への関心を高める取り組み



水害座談会



防災フォーラム



北波多環境フェスタ

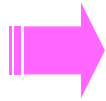


飯木川魚類調査

今後も整備計画（案）の考え方にに基づき、地域との連携・協働により川づくりを行います。

《河川整備の目標、河川整備の実施、**連携・協働**》意見(5)

将来の地域を担う子どもたちへの環境学習が必要



今後の川づくりを進める上で、川遊びや水生生物調査、イベント、環境学習などの自然体験活動等の機会を提供し、地域の将来を担う子供達への環境学習を積極的に支援します。また、自然体験活動等の指導者育成・発掘に関しても、積極的に取り組みます。

《河川整備の目標、河川整備の実施、連携・協働》意見(6,7,8,9)

川のアピールをうまく分かり易くしてほしい。また、分かり易い情報を提供して欲しい。

川を大切に思えるようにしてほしい。

イベントをしてほしい。

松浦川の水量や水質、施設、工事計画等の情報を提供してほしい

河川の適切な管理を進めるためには、地域の声を適切に計画へ反映・実践していくことが必要であり、そのことが長期的な視点からみても、地域による河川管理につながることから、松浦川中流部のアザメの瀬で実施中の徹底した住民参加による対話、合意形成に至るまでのプロセス等を模範としながら川づくりを推進する旨を追加記載しました。P151

また、松浦川の特徴、風土、文化を踏まえ、「松浦川らしさ」を活かした河川整備を進めるため、ホームページ・広報誌やラジオ、テレビ、新聞などのメディアを利用して広く情報提供し、住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換会の場づくりなど、関係機関や地域住民との双方向コミュニケーションを推進していきます。

地域住民の関心を高める取り組みを分かり易く表現するため、広報活動のイメージイラストを追加記載しました。P151

《河川整備の目標、河川整備の実施、連携・協働》意見(6,7,8,9)-2



武雄河川
ホットニュース



アザメの瀬検討会



魚の観察会

今後の取り組みについて

住民意見を踏まえた河川整備計画内容について地域住民へお知らせ

- ▶ 住民意見の概要や意見の内容についてはホームページにて公表済み
- ▶ 住民意見の概要や意見に対する事務所の対応等を取りまとめたパンフレットの作成・配布
- ▶ これらの内容について、地域住民、市民団体等への出前講座の実施

流域住民との更なる連携に向けて

- ▶ 松浦川流域懇談会（仮称）の設立
 - ・ 流域検討会メンバー等や市民団体等に呼びかけ（自由参加方式）
 - ・ 事業の取り組み状況や住民との連携事例等を共有、交換する場
- ▶ 各地区での協議会等の継続実施

河口部モニタリング部会、河口部唐津みなとまちづくり懇話会、アザメの瀬検討会、土井地区川辺の会、中山地区水辺検討会、大黒堰周辺整備意見交換会

等